

1 単元名 広告や説明書のひみつ大発見！

2 教材名 広告と説明書を読み比べよう（東京書籍4年下）

3 目 標

- 目的による表し方の違いに興味をもち、文章を読み比べようとする。（国語への関心・意欲・態度）
- 表現の仕方や工夫を比較しながら読み、広告と説明書の違いについて読み取ることができる。
(読むこと)
- 広告と説明書について、それぞれの観点に沿って大事な言葉を押さえながら読むことができる。
(読むこと)
- 接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解することができる。(1)－イー(ク)
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

4 単元について

(1) 単元を貫く言語活動について

小学校学習指導要領・国語の第3学年及び第4学年「C読むこと」の指導事項の中から、特に「I目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。」を取り上げて指導することをねらいとした。その際、「C読むこと」の言語活動例に示す「I記録や報告の文章、図鑑や辞典などを読んで利用する。」を通して指導の効果を高めようと考えた。

言語活動例Iに示す言語活動例を「広告や説明書のひみつを見つけ、ドラえもののひみつ道具の広告や説明書を書いてみよう」として具体化することにした。ここで扱う広告は、不特定多数の人にその事物のよさを伝える目的で作成されるものであり、キャッチコピーや写真などを効果的に配置している。また、説明書は特定の人にその事物の使い方等を分かりやすく説明する目的で作成されるものであり、図表を使ったり、分かりやすい書き方を工夫したりしている。このような広告と説明書の目的による書き方の違いを児童に捉えさせたい。そのために、本単元では、実際の広告や説明書を比べて読み、それぞれの目的や表し方の違いについて読み取る活動を行った後に、広告や説明書を自分で作成し、友達と交流する活動を通して、本単元で児童に付けたい力である「目的による表し方の違いや述べ方の工夫を読み取る力」を付けたいと考える。

(2) 単元設定の意図

児童は、3年生時に「ほげんだよりを読みくらべよう」の学習で、同じ形式で書かれた文章でも伝えたいことに応じて書き方が変わることについて読み取る力を付けることができた。しかし、同じ事物について書かれた様々なテキストについて、誰に対して、何を伝えるために、どのような書き方で書かれているのか等について読み取る力はまだ身に付いていない。

上記のような児童の実態から、本単元では、児童にとって身近な広告や説明書をテキストとして取り上げたい。そして、「ドラえもののひみつ道具の説明書をつくって友達と交流する」という学習課題を設定することで、児童の学習に対する意欲を高めたい。そして、広告と説明書を読み比べ、書かれている内容の違いをとらえ、その意図は何かについて読み取れるようにする。読み取った内容を基に、ドラえもののひみつ道具の説明書を作成するという活動を行うことを通して、読み取った内容を活用できるようにしたいと考える。

指導にあたっては、まず第1次で身近にある広告や説明書を想起させながら、広告と説明書がどのようなものであるかを理解させたい。その際、活用の過程でつくるドラえもののひみつ道具の広告や説明書のモデルを示し、単元の学習への見通しをもたせたい。第2次では、広告と説明書についてそれぞれの目的と書かれている内容を読み取っていく。そして観点に沿って、何がどのように書かれているのかを比べ、広告と説明書の違いについてまとめる。第3次では、2次での学習を生かして、ドラえもののひみつ道具について広告や説明書を作成する。最後にそれぞれが作成した広

告や説明書を友達と交流することを通して、広告や説明書の目的や書き表し方の工夫を確認し合う。以上のような単元を構想することを通して、「目的による表し方の違いや述べ方の工夫を読み取る力」を付けたい。

(3) 単元づくりモデル・四つの手立て・言語活動アイテムについて

本単元では、段階型モデル、手立て3、言語活動アイテムとしてドラえもののひみつ道具の広告や説明書を活用して単元を構成することにした。第2次において、教科書教材にある電子体温計の広告と説明書を使って、何について、どのように書かれているか、それによってどんな効果を得ているか、どんな目的を果たそうとしているのかについて学ぶ。第3次では、それを活用する段階として、ドラえもののひみつ道具について広告や説明書を作る活動を行う。活動を通して、本単元で付けたい力に迫り、思考力・判断力・表現力を伸ばしていきたいと考えた。

5 評価規準

関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
①目的による表し方の違いに興味をもち、文章を読み比べようとしている。 ②既習の学習経験を生かしながら、目的に応じた学習計画を立てようとしたり、学習活動全体について目的と照らした振り返りをしたりしようとしている。	③表現の仕方や工夫を比較しながら読み、広告と説明書の違いについて読み取っている。 ④広告と説明書を読み比べるときの視点に沿って、大事な言葉を押さえながらまとめている。	⑤接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解している。

6 指導および評価の計画（9時間取り扱い）

【段階型・手立て4・ひみつ道具の広告や説明書】

次	時	学習活動・内容	評価規準【方法】
1 導 入	1 2	【学習の見通しをもつ】 ○身近にある広告や説明書を想起しながら、広告と説明書がどのようなものであるか理解する。 ○目的による表し方の違いを考え、ドラえもののひみつ道具の広告や説明書を書くことを確かめる。 ・学習課題「あの『ひみつ道具』の広告や説明書を作り、みんなで交流しよう」を設定する。	②学習のねらいを意識して、学習の見通しをもとうとしている。 【ふり返しカード】
2 習 得	3 ④ 5 6	【広告と説明書の目的と特徴を確かめながら読み、観点に沿って読み比べる】 ○教科書教材を読み、広告、説明書のそれぞれの目的を確かめる。 ○広告と説明書に書かれている事柄を読み取る。 ○五つの観点に沿って、何が、どのように書かれているかを比べる。 ○それぞれの文書の目的と表し方の関係について考える。	①目的による表し方の違いに興味を持ち、文章を読み比べている。 【ふり返しカード】 ③表現の仕方や工夫を比較しながら読み、広告と説明書の違いについて読み取っている。 【ワークシート・発表】 ⑤接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解している。
3 活 用	7 8 9	【ドラえもののひみつ道具の広告や説明書を作って交流する】 ○広告や説明書の目的と書き表し方の工夫を確かめた上で、ドラえもののひみつ道具についての広告や説明書を書く。 ○出来上がった作品を交流し合い、目的に合わせて書かれているかを確かめ合う。	④広告と説明書を読み比べるときの視点に沿って、大事な言葉を押さえながらまとめている。 【ワークシート】

7 本時の学習

(1) 目 標

広告と説明書を比べて読むことを通して、それぞれのテキストに書かれている内容や目的、表現の工夫について読み取ることができる。

(2) 準備

付せん紙 ワークシート 黒板掲示用拡大コピー ふり返しカード

(3) 展 開

【○補充的指導 ◎発展的指導 評価】

学 習 活 動 ・ 内 容	指 導 上 の 留 意 点 ・ 評 価 【 方 法 】
<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>広告と説明書を読みくらべ、ひみつをさぐろう。</p> </div> <p>2 広告と説明書がそれぞれどのようなものか読み取る。</p> <p>(1) 広告と説明書の違いについて、以下の視点にそって確認する。</p> <p>①何のためにつくられるのか (目的) ②どんな人に見てもらえるものか (対象) ③何を伝えようとするものか (伝え方) (効果)</p> <p>(2) グループごとに広告と説明書について気付いたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書かれている事は？ ・言葉の使い方や説明の仕方は？ ・写真や絵の使い方は？ ・色の使い方は？ ・書かれている事の順じょやレイアウトは？ <p>3 広告と説明書の違いについて全体でまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広告は写真が多いが、説明書は絵である。 ・広告は色がたくさん使われている。 ・広告には、キャッチコピーがある。 ・説明書には、使用上の注意点が書かれている。 ・説明書には、各部の名前が書かれている。 ・説明書の方が細かく書かれている。 ・説明書には使い方が書かれている。 <p>4 本時の振り返りをし、次時の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・広告と説明書では、伝える相手が違うことが分かった。 ・伝える相手によって、文章の書き方や図表の使い方が違うことが分かった。自分で広告や説明書を作る時に学習したことを活用したい。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時では、ドラえもののひみつ道具の広告や説明書を作るために、教科書教材文にある広告と説明書を読み比べ、書き方の「ひみつ」をさぐっていくことを確認する。 ・広告と説明書を比較し、そのちがいを捉えるために、目的、対象、伝え方やその効果に分けて、ワークシートにまとめるよう助言する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>③広告と説明書について、その目的を確かめ、書かれている事柄や表現の仕方の工夫を読み取り、視点にそってワークシートに分かったことをまとめている。</p> <p style="text-align: right;">【ワークシート・発表】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・電子体温計の広告と説明書の拡大コピーを各グループに配付する。 ・グループで気付いたことを出し合い、拡大コピーに付箋紙を貼っていくよう助言する。 ○ひみつがなかなか見つからない、または書けないグループには、①から⑤の視点を与える。 ◎話し合いが進み、付箋紙がある程度貼り終わったグループには、発表の準備をするよう伝える。 ・「広告と比べて説明書は、～」、「説明書は～だが、広告は～」、「広告よりも、説明書は～」など、比較表現を全体で確認する。 ・他のグループの発表を聞いて参考になる部分をくらしートに記入し、広告と説明書の違いを捉えられるようにしたい。 ・各グループの発表で出されるであろう左記のまとめ等については、掲示物をあらかじめ作成しておき、発表を受けながら黒板に貼っていくようにする。 ・本時の学習で分かったことやできるようになったことについて書くことで、本時で付いた力を振り返れるようにしたい。